

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン（2030年）

クリーンでサステナブルな海上輸送における必要不可欠な存在を目指し、ステークホルダーと協働して変革を続け、企業価値の更なる向上を図る

GHG年間削減率
25%営業利益
200億円ROE
10%以上ネットD/Eレシオ
1.0倍以下

② 中長期の経営戦略

1. 新規成長事業領域の拡大

メタノール二元燃料船、アンモニア燃料船、バイオ燃料導入など次世代燃料船の導入による環境対応

3. 人的資本戦略

インターネット環境拡充、ホールドクリーニングロボット配備、船員訓練センター設立など乗組員環境向上

2. 既存中核事業領域の深化

既存船への省エネデバイス、ローターセイル搭載、高効率プロペラ換装によるGHG削減

4. DX戦略

船舶機器監視システム導入、実海域データ収集など船舶DXによる安全・効率化を推進

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 米国関税政策による貨物輸送需要の見通しが不透明
- ・ 石炭輸送需要の鈍化懸念、ドライバルク貨物全体の堅調推移への対応
- ・ 環境規制と次世代燃料の技術課題への対処

② 安全運航・DX推進

- ・ 船上のインターネット環境拡充による安全性向上
- ・ 船舶機器監視システム導入と実海域データ活用
- ・ 事故予防と運航効率化の両立

③ 2050年カーボンニュートラル実現

- ・ 2030年GHG削減目標25%達成に向けた新燃料船の導入加速
- ・ 顧客の脱炭素化に貢献し長期契約を確保
- ・ 燃料サプライチェーン確保の重要性

面接で使えるポイント

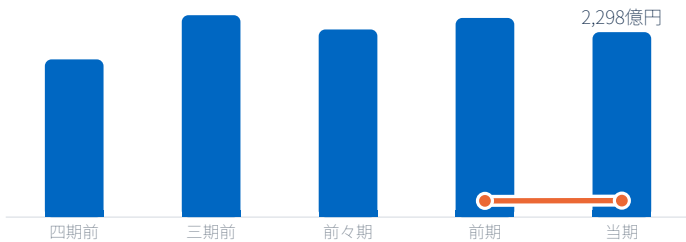
- ・ 2030年ビジョン達成に向けメタノール二元燃料船など次世代燃料船の導入を推進、顧客の脱炭素化に協働で貢献する点
- ・ 2024年度にROE11.9%、Net DER0.18倍で2027年度目標を前倒し達成し…
- ・ アンモニア燃料船共同開発、ローターセイル搭載など技術革新とDXで安全運航と環境保全を両立

NSユニテッド海運株式会社

海運業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 9110

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,298億円

営業利益率
8.9%

財務健康度
59点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 66.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,197万円
海運業内 5位/11社

平均年齢
40.2歳
海運業内 5位/11社

平均勤続
14.4年
海運業内 3位/11社

女性管理職
1.3%
海運業内 8位/8社

男性育休
84.6%
海運業内 3位/6社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

NSユニテッド海運株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

